

令和6年度看護職定着確保動向調査結果 — 再就業者対象 —

I.調査概要

調査目的	再就業した看護職の働き続けられる理由や就職先決定の決め手等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県在住の令和5年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用にて就業した者を除く)
調査時期	令和6年5月27日 ～ 令和6年6月17日
調査方法	調査依頼をメールと郵便はがきにて案内し千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数: 140 名 回答数: 52 名 回答率: 37.1%

II.調査結果

1.回答者の属性

「再就業」とは、未就業者が再就業したもの

「転職」とは、就業中の者が転職したもの

1)居住地

居住地は、船橋地区21.2%、千葉地区17.3%、同率で市川地区、印旛地区が15.4%の順であった。

<表1>地区別 現居住地

(n= 52)

地区名	回答数	割合
千葉	9	17.3%
市原	2	3.8%
船橋	11	21.2%
市川	8	15.4%
松戸	5	9.6%
東葛	7	13.5%
印旛	8	15.4%

地区名	回答数	割合
利根	0	0.0%
山武	0	0.0%
長夷	0	0.0%
君津	2	3.8%
安房	0	0.0%
県外	0	0.0%

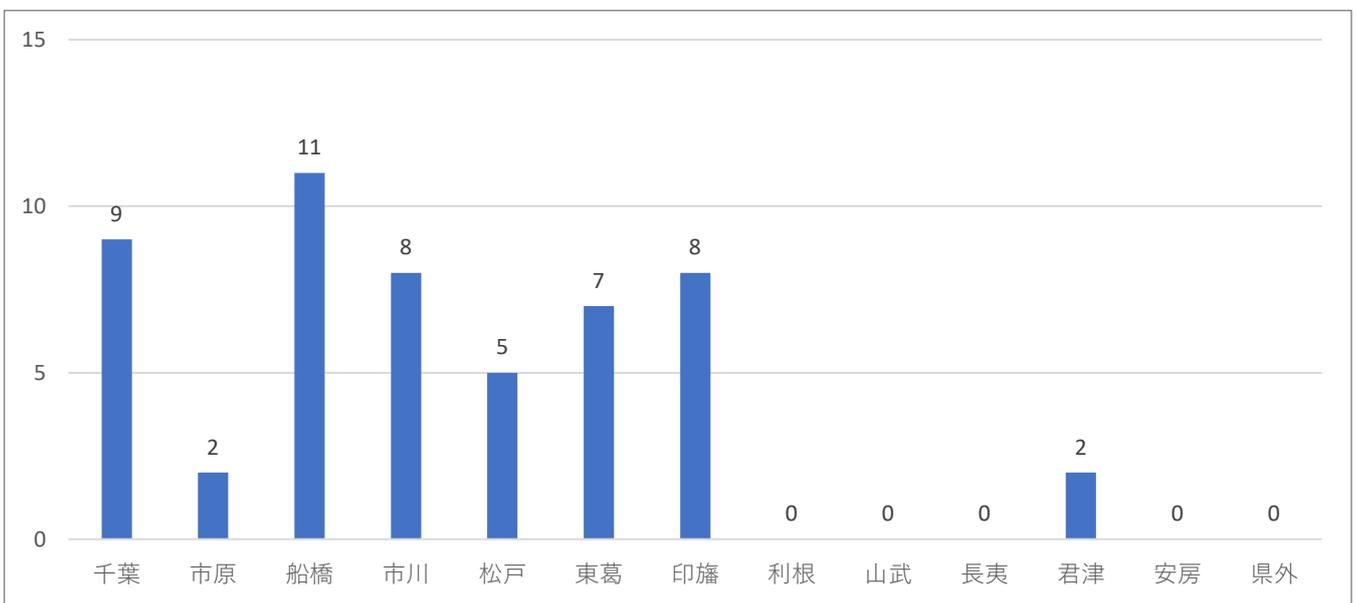


図1 地区別 回答数

2)年代

<表3>年齢

	(n=52)		
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
20代	3	0	3
	5.8%	0.0%	12.5%
30代	10	6	4
	19.2%	21.4%	16.7%
40代	19	12	7
	36.5%	42.9%	29.2%
50代	15	9	6
	28.8%	32.1%	25.0%
60代	5	1	4
	9.6%	3.6%	16.7%
70代	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%

再就業時の年齢層は、「40代」36.5%
「50代」28.8%、「30代」19.2%の順で
あった。

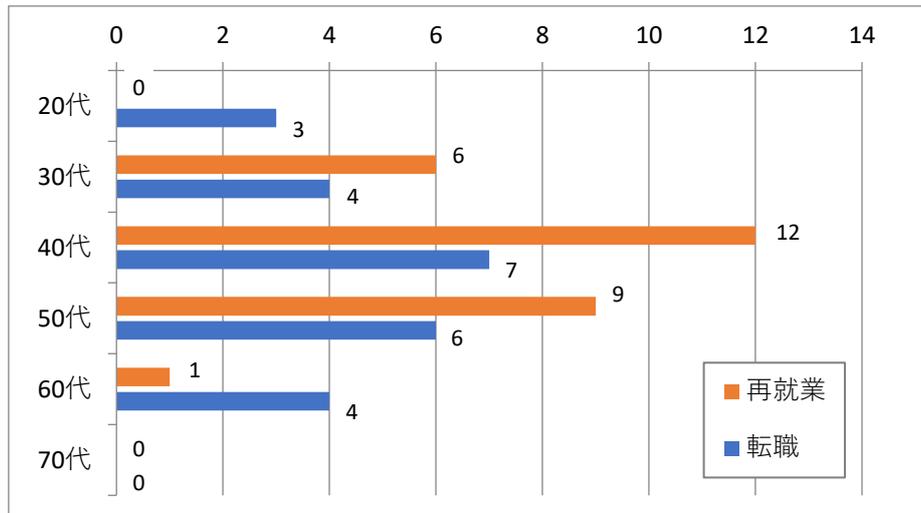


図2 回答者の年代(再就業者、転職別)

3)資格

看護師88.5%、保健師7.7%、同率で助産師、准看護師1.9%の順だった。

<表4>資格

(n= 52)

保健師	助産師	看護師	准看護師
4	1	46	1
7.7%	1.9%	88.5%	1.9%

2.就職時の状況

1)就業状況

就職時の就業状況は、未就業から
再就業した者が28名(53.8%)、
転職者が24名(46.2%)で、前年度(74.0%)より
再就業者の割合が20.2ポイント減少した。

<表5>就業状況

(n= 52)

再就業	転職
28	24
53.8%	46.2%

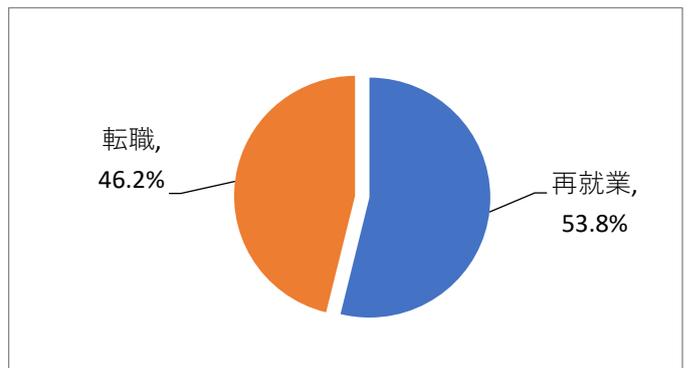


図3 就業時の就職状況

2)再就業者のブランク期間

再就業者のブランク期間は、「6ヶ月未満」35.7%が最も多く、「1年未満」21.4%、「5年以上10年未満」14.3%の順であった。

＜表6＞ 再就業者のブランク期間

(n= 28)

6か月未満	～1年	～2年	～3年	～4年	～5年	～10年	～15年
10	6	2	0	0	1	4	2
35.7%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	14.3%	7.1%
～20年	～25年	～30年	無回答				
1	0	0	2				
3.6%	0.0%	0.0%	7.1%				

3)現在の就業状況

再就業した施設で継続して勤務している人は50.0%で、転職した人は25.0%、退職した人は9.6%であった。

＜表7＞ 現在の就業状況

	(n=52)	再就業 (n=28)	転職 (n=24)
令和5年度に就職後、 同じ施設で継続して勤務	26 50.0%	18 64.3%	8 33.3%
令和5年度に就職後、転職 (現在就業中)	13 25.0%	4 14.3%	9 37.5%
令和5年度に就職後、退職 (現在未就業)	5 9.6%	2 7.1%	3 12.5%
その他	8 15.4%	4 14.3%	4 16.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

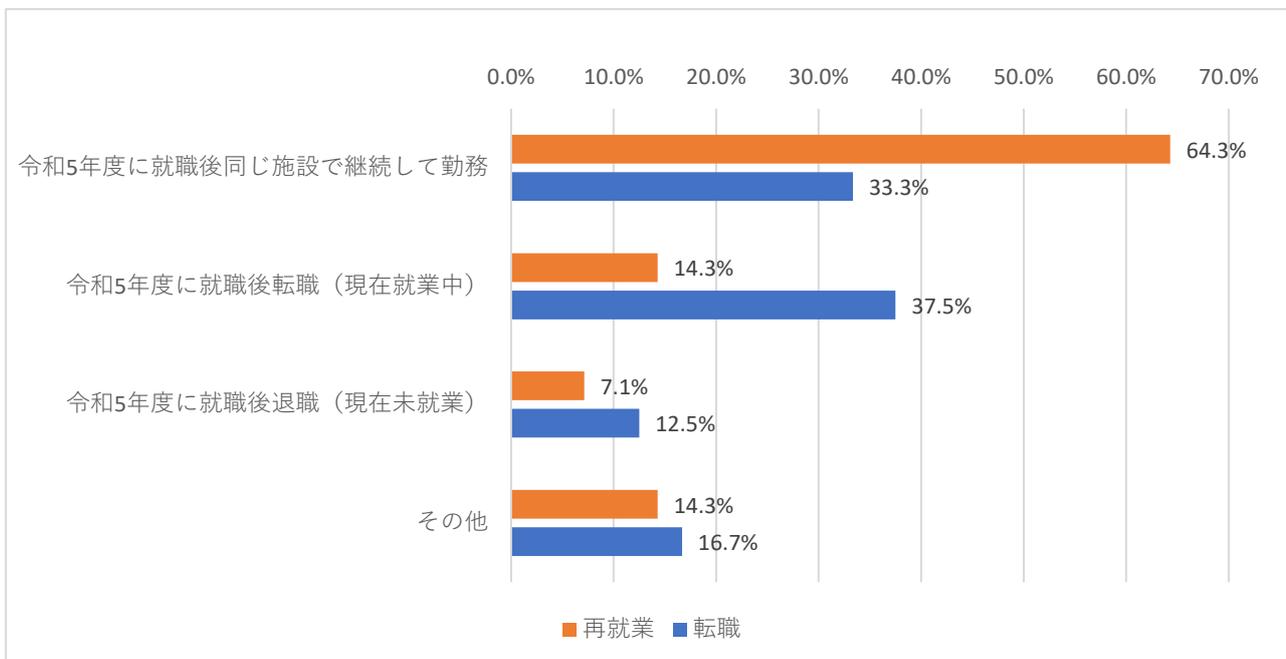


図4 現在の就業状況(再就業、転職別)

4)現在勤務している施設で働き続けられている理由(複数回答)

(「3)」にて「令和5年度に就業後、退職(現在未就業)」、「無回答」を除く)

働き続けられる理由は、「勤務時間が自分の生活スタイルに合っている」59.6%、「休暇が取りやすい」48.9%、「同僚との関係がよい」46.8%の順であった。

<表8> 現在勤務している施設で働き続けられている理由

	(n=47)		
		再就業 (n=26)	転職 (n=21)
勤務時間が自分の生活スタイルに合っている	28 59.6%	18 69.2%	10 47.6%
休暇が取りやすい	23 48.9%	14 53.8%	9 42.9%
同僚との関係が良い	22 46.8%	11 42.3%	11 52.4%
通勤に便利である	21 44.7%	15 57.7%	6 28.6%
夜勤がない	18 38.3%	12 46.2%	6 28.6%
上司との関係が良い	17 36.2%	9 34.6%	8 38.1%
短時間勤務ができる	11 23.4%	7 26.9%	4 19.0%
希望する看護領域がある	9 19.1%	3 11.5%	6 28.6%
給与が希望にあっている	7 14.9%	3 11.5%	4 19.0%
子育て支援策が充実している	7 14.9%	5 19.2%	2 9.5%
福利厚生が充実している	5 10.6%	3 11.5%	2 9.5%
家族の支援がある	5 10.6%	4 15.4%	1 4.8%
プリセプターがついてくれる	5 10.6%	2 7.7%	3 14.3%
再就業支援のプログラムがあった	3 6.4%	2 7.7%	1 4.8%
夜勤を軽減または免除制度がある	2 4.3%	2 7.7%	0 0.0%
看護ケアが充実している	2 4.3%	1 3.8%	1 4.8%
医療安全対策が充実している	1 2.1%	0 0.0%	1 4.8%
キャリアアップの機会がある	1 2.1%	1 3.8%	0 0.0%
その他	6 12.8%	3 11.5%	3 14.3%

- その他：
- ・上司のパワーハラスメントがない
 - ・個人に負担がいかないように、仕事内容を調整している
 - ・経験分野で指導を受ける必要がない、社保加入、交通費支給
 - ・看護師の数が不足

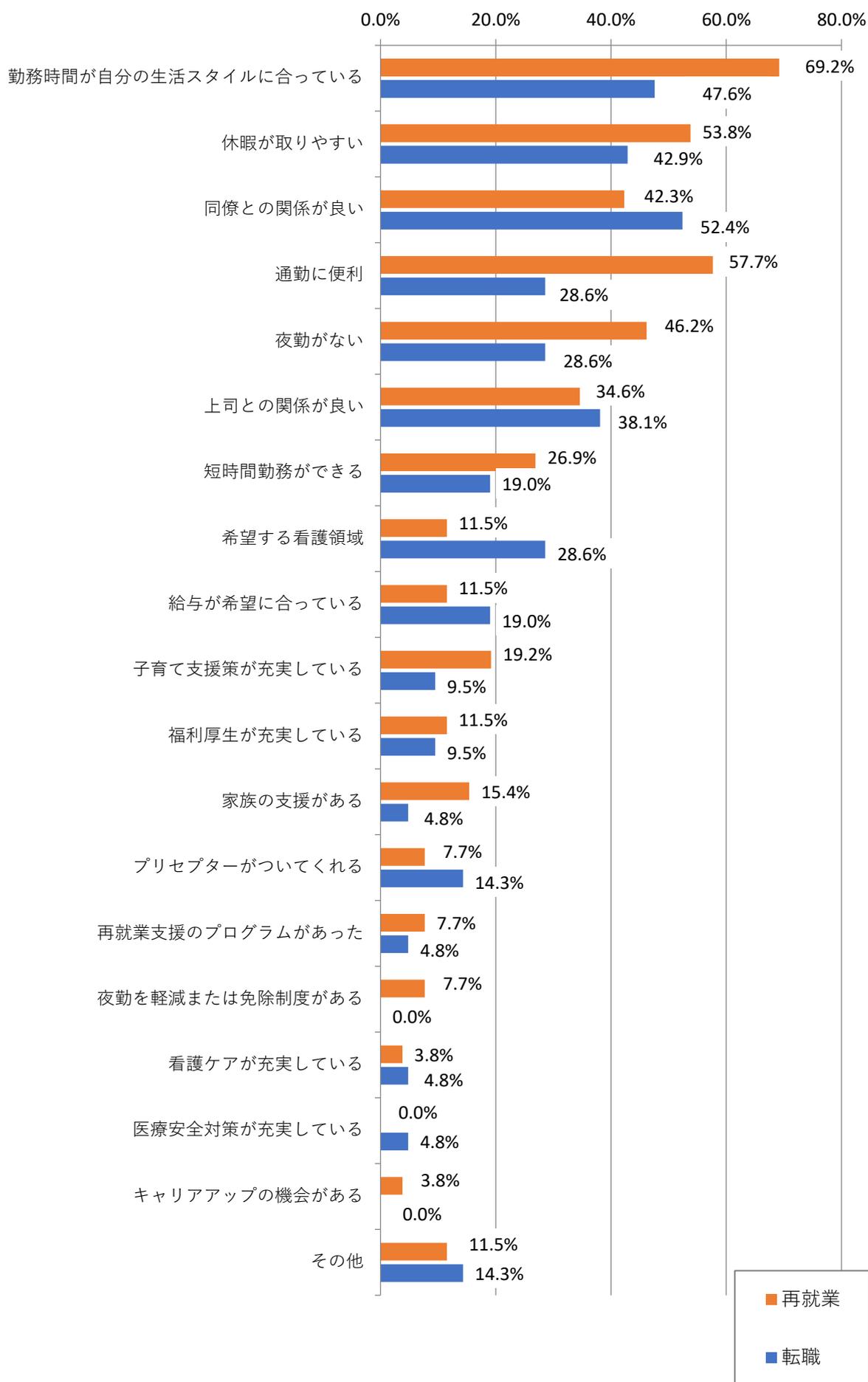


図7 働き続けられている理由(再就業、転職別)

4)勤務先の施設種別

勤務先の施設種別は、同率で「病院」「診療所・クリニック」26.9%、「介護福祉系施設」13.5%の順で、病院の割合が前年度(24.0%)と比較して2.9ポイント増加した。

<表9> 勤務先の施設種別

	(n=52)	再就業	転職
		(n=28)	(n=24)
病院	14 26.9%	5 17.9%	9 37.5%
診療所・クリニック	14 26.9%	8 28.6%	6 25.0%
介護福祉系施設	7 13.5%	5 17.9%	2 8.3%
訪問看護ステーション	6 11.5%	3 10.7%	3 12.5%
企業	2 3.8%	1 3.6%	1 4.2%
特別支援学校	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公的機関	4 7.7%	1 3.6%	3 12.5%
健診センター	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学校・大学等教育機関	3 5.8%	3 10.7%	0 0.0%
幼稚園・保育園等	1 1.9%	1 3.6%	0 0.0%
その他	1 1.9%	1 3.6%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

その他：
・児童発達支援事業所

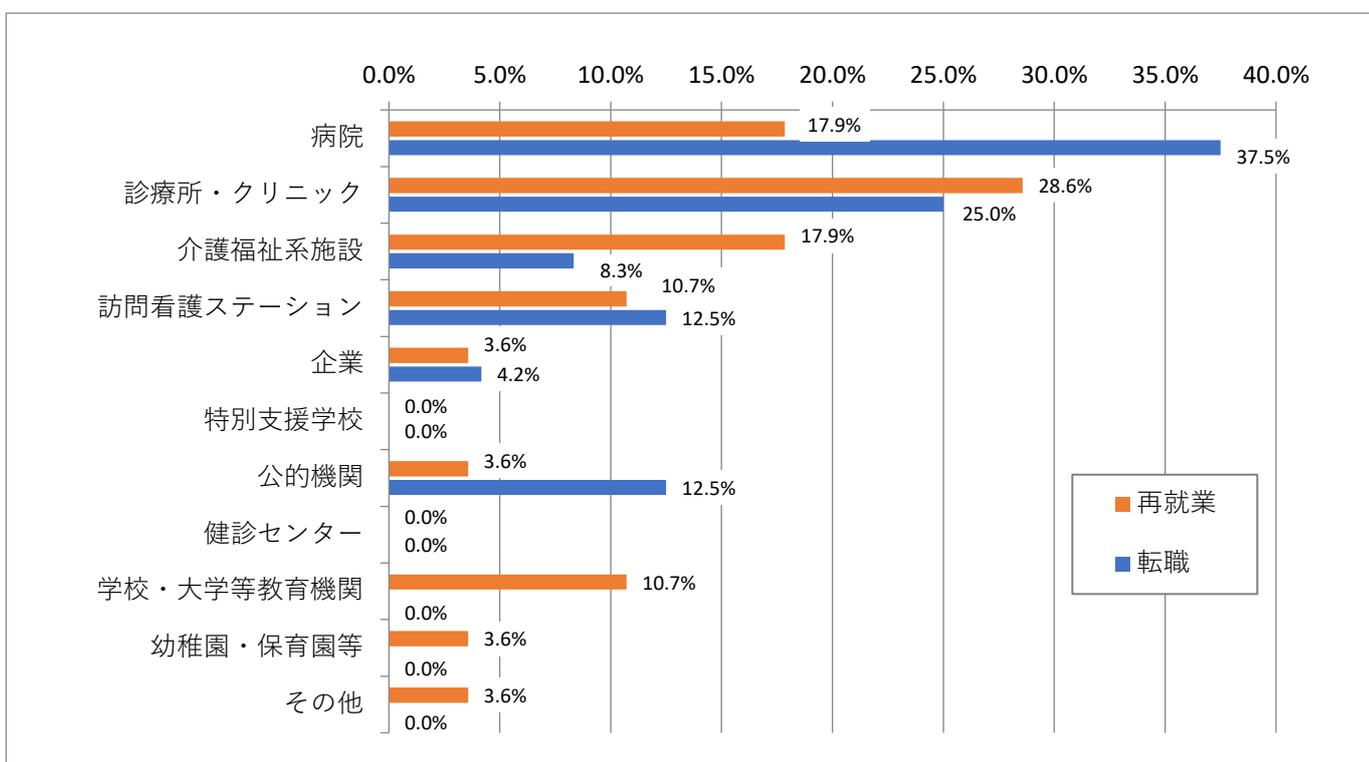


図5 勤務先の施設種別(再就業、転職別)

5)雇用形態

雇用形態は、「非常勤職員」48.1%が最も多く、前年度(66.6%)より18.5ポイント減少した。次いで「正職員」42.3%で前年度(22.0%)より20.3ポイント増加した。「派遣職員」は0%であった。

<表10> 雇用形態

	(n=52)		
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
正職員	22 42.3%	11 39.3%	11 45.8%
短時間正職員	1 1.9%	1 3.6%	0 0.0%
非常勤職員	25 48.1%	15 53.6%	10 41.7%
派遣職員	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 7.7%	1 3.6%	3 12.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

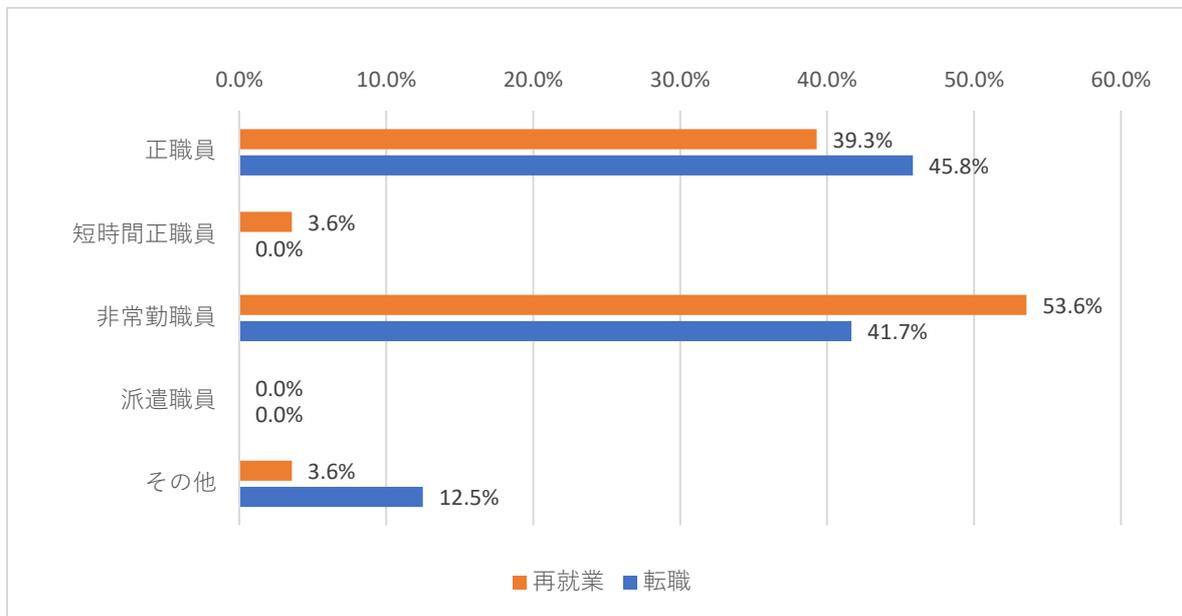


図7 雇用形態(再就業、転職別)

3.再就業後の指導体制について

1)指導係の有無

再就業後の、指導係の有無では「直接の指導係がいて相談できた」51.9%で、「直接の指導係はいなかった」は48.1%だった。

<表11> 指導係の有無

	(n=52)		
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
直接の指導係がいて相談できた	27 51.9%	10 35.7%	17 70.8%
直接の指導係はいなかった	25 48.1%	18 64.3%	7 29.2%

2)相談相手の有無

1)で「直接の指導係はいなかった」25名のうち、相談できる同僚や先輩はいるか、またはいたかでは、「相談者はいた」76.0%、「相談者はいなかった」24.0%だった。

<表12> 相談相手の有無

	(n=25)		
		再就業 (n=18)	転職 (n=7)
相談者はいた	19 76.0%	13 72.2%	6 85.7%
相談者はいなかった	6 24.0%	5 27.8%	1 14.3%

4.再就業のきっかけ(複数回答)

再就業のきっかけは、「今までに得た職業経験や技術・資格を活かす」61.5%が最も多く、次いで「経済的な理由から」48.1%、「専門的な経験をより高めたい」25.0%の順であった。

<表13> 再就業のきっかけ

	(n=52)		
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
今までに得た職業経験や技術・資格を活かしたい	32 61.5%	17 60.7%	15 62.5%
経済的な理由から	25 48.1%	12 42.9%	13 54.2%
専門的な経験をより高めたい	13 25.0%	6 21.4%	7 29.2%
社会に出たい	12 23.1%	4 14.3%	8 33.3%
子育て・介護・転居等が一段落したため	9 17.3%	6 21.4%	3 12.5%
友人・知人にすすめられた、誘われた	5 9.6%	3 10.7%	2 8.3%
その他	8 15.4%	4 14.3%	4 16.7%

その他:

- ・子育てしながらも休みの融通がきく、夜勤回数が自由、通勤距離の短縮、体に負担がない。
- ・この年齢でも看護の役に立つのであれば、看護への貢献が一番の動機
- ・臨床の経験を積むため。
- ・いじめがない。言葉の暴力がない。心理的安全性
- ・夜勤のない働き方をしたかったから。

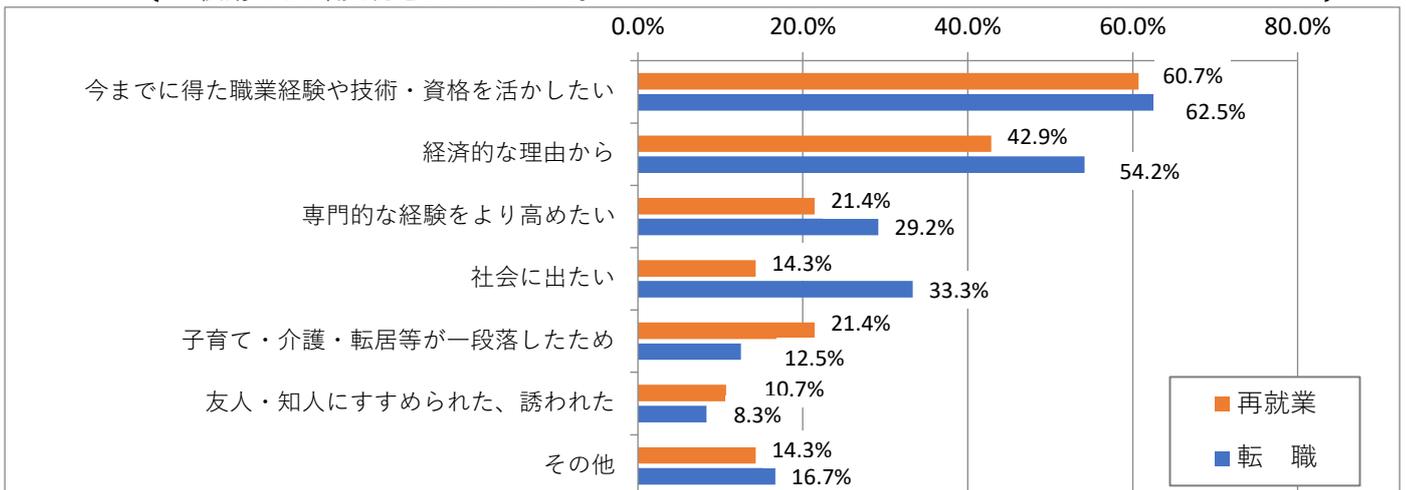


図8 再就業のきっかけ(再就業、転職別)

5.就職活動で利用した職業紹介所等について(複数回答)

1)就職活動で活用した職業紹介所

就職活動で活用した職業紹介所等は、同率で「千葉県ナースセンター」「民間の就職あっせん業者」59.6%と最も多く、次いで公共職業安定所(ハローワーク)53.8%であった。

<表14> 就職活動で利用した職業紹介所等について

	(n=52)	再就業	転職
		(n=28)	(n=24)
千葉県ナースセンター	31 59.6%	17 60.7%	14 58.3%
民間の就職あっせん業者	31 59.6%	20 71.4%	11 45.8%
公共職業安定所(ハローワーク)	28 53.8%	17 60.7%	11 45.8%
派遣業者	5 9.6%	4 14.3%	1 4.2%
県外のナースセンター	2 3.8%	1 3.6%	1 4.2%
その他	7 13.5%	1 3.6%	6 25.0%

その他： ・知人2件
・自分で探した
・店頭のポスター

<表15> 利用数

	1社	2社	3社	4社	5社以上	平均利用数
民間の就職あっせん業者 (n=31)	12	7	7	2	3	2.3 社
再就業	9	4	4	1	2	2.2 社
転職	3	3	3	1	1	2.5 社
派遣業者 (n=5)	2	3	0	0	0	1.6 社
再就業	1	3	0	0	0	1.8 社
転職	1	0	0	0	0	1.0 社

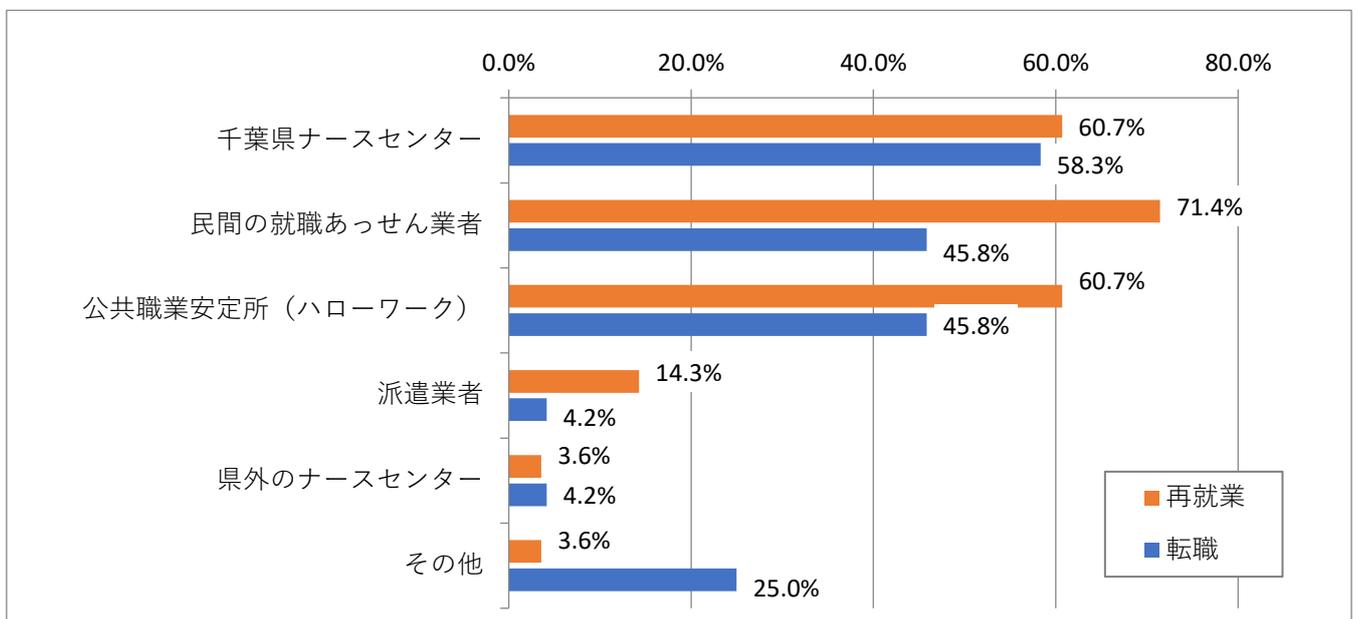


図9 利用した職業紹介所等(再就業、転職別)

6.就職先の決定

就職先の決定では、同率で「民間の就職あっせん業者」「インターネット、LINE等で自分で調べた」28.8%と最も多く、次いで「公共職業安定所(ハローワーク)」19.2%であった。

<表16> 就職先の決定

	(n=52)	再就業 (n=28)	転職 (n=24)
	民間の就職あっせん業者	15 28.8%	10 35.7%
インターネット、LINE等で自分で調べた	15 28.8%	5 17.9%	10 41.7%
公共職業安定所(ハローワーク)	10 19.2%	6 21.4%	4 16.7%
知人・友人	8 15.4%	5 17.9%	3 12.5%
千葉県ナースセンター	2 3.8%	1 3.6%	1 4.2%
ジョブカフェ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
派遣業者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県外のナースセンター	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 3.8%	1 3.6%	1 4.2%

その他：

<ul style="list-style-type: none"> ・先生からの直接のオファー ・子どもの学校からの募集案内。
--

7.就職先決定の決め手(複数回答)

就業先決定の決め手は、同率で「勤務時間」「立地(通勤に便利な場所等)」59.6%、次いで「看護領域・看護内容・業務内容」53.8%の順に多かった。

<表17> 就職先決定の決め手

	(n=52)		
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
勤務時間	31	19	12
	59.6%	67.9%	50.0%
立地(通勤に便利な場所等)	31	19	12
	59.6%	67.9%	50.0%
看護領域・看護内容・業務内容	28	14	14
	53.8%	50.0%	58.3%
休日・休暇制度	18	7	11
	34.6%	25.0%	45.8%
施設の雰囲気	18	11	7
	34.6%	39.3%	29.2%
給与	15	5	10
	28.8%	17.9%	41.7%
人間関係	10	6	4
	19.2%	21.4%	16.7%
子育て支援	6	5	1
	11.5%	17.9%	4.2%
家族の支援・同意	4	3	1
	7.7%	10.7%	4.2%
再就業の支援プログラム	4	3	1
	7.7%	10.7%	4.2%
保育施設	2	2	0
	3.8%	7.1%	0.0%
キャリアアップ支援	1	1	0
	1.9%	3.6%	0.0%
宿舍・寮	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4	3	1
	7.7%	10.7%	4.2%

- その他:
- 【再就業】
 - ・人員が足りないからと、管理者から連絡があった。
 - ・恩師の勧め
 - ・身体に負担がなさそうだった。
 - 【転職】
 - ・先生からの直接のオファー

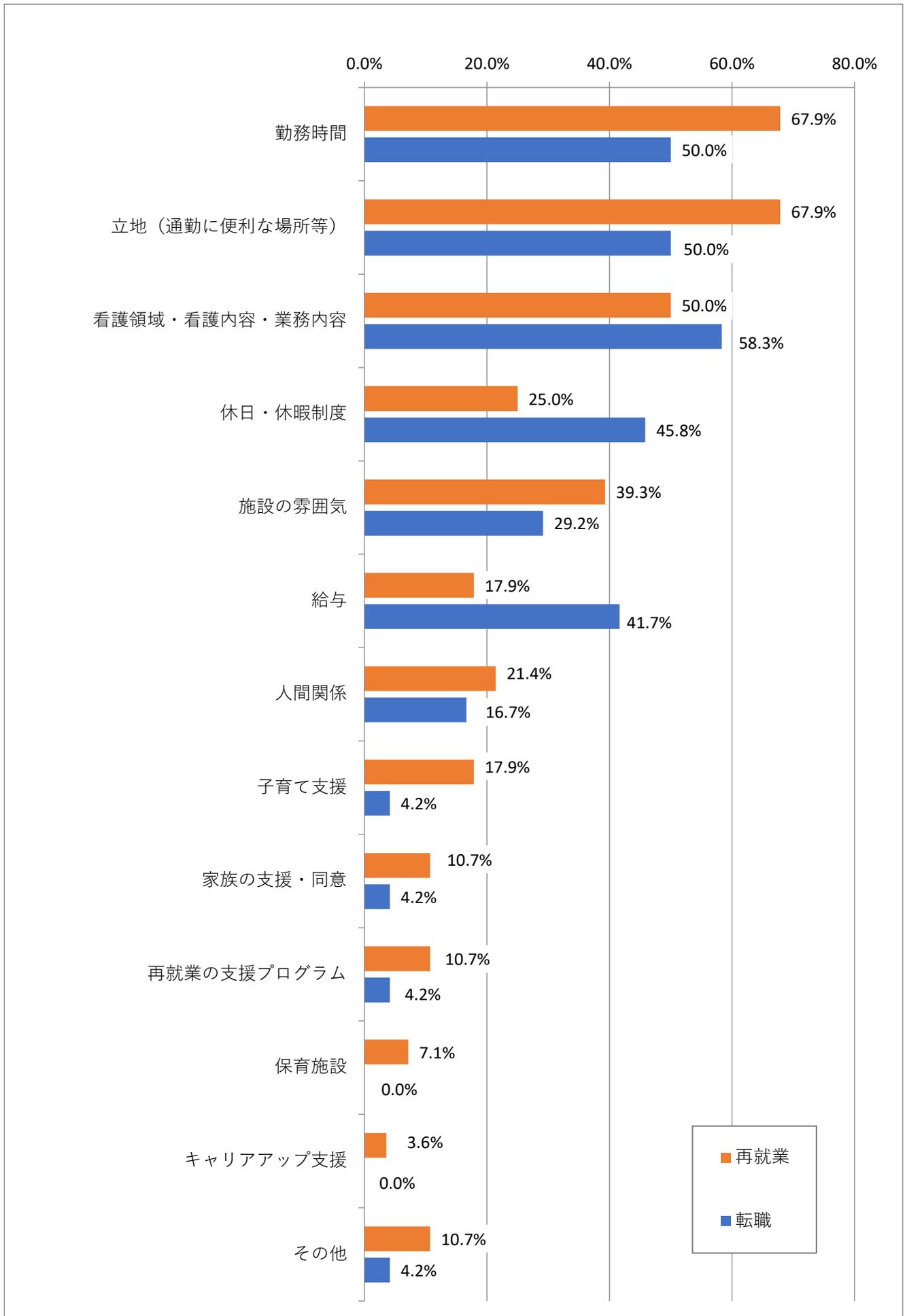


図10 就職先決定の決め手(再就業、転職別)

8.再就業講習会(復職支援セミナー等)について

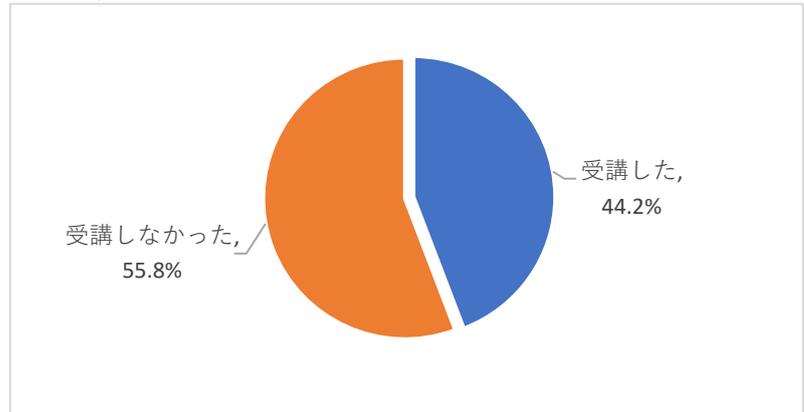
再就業講習会(復職支援セミナー等)の受講状況は、「受講した」44.2%、「受講しなかった」55.8%で、「受講した」人の内訳は、再就業が56.5%、転職が43.5%であった。受講した場所は、複数回答で「千葉県ナースセンター・看護協会」が100.0%、ハローワークが4.3%だった。

1)就職が決定する前の再就業講習会(復職支援セミナー等)の受講状況

<表18>再就業講習会の受講状況

受講した	受講しなかった
23	29
44.2%	55.8%

(n= 52)



(n= 23)

再就業	転職
13	10
56.5%	43.5%

2)どこで受講したか(受講したものすべて回答)

図11 再就業講習会の受講状況

<表19> 受講場所

(n= 23)

千葉県ナースセンター・看護協会	23	100.0%
県外のナースセンター・看護協会	0	0.0%
その他	1	4.3%

その他:
ハローワークでの
支援セミナー

3)受講した研修内容

<表20> 受講した研修内容

(n= 23)

採血	注射法	吸引	経管栄養	排泄ケア・介助
16	16	10	8	4
69.6%	69.6%	43.5%	34.8%	17.4%
医療安全	CVポート管理	感染管理	清潔ケア	その他
4	3	3	1	2
17.4%	13.0%	13.0%	4.3%	8.7%

4)受講した再就業講習会(復職セミナー等)の活用度

就業後セミナーについて、「非常に役立っている」37.5%、「まあまあ役立っている」29.1%であった。

<表21> 受講した再就業講習会(復職セミナー等)

(n= 23)

非常に役立っている	まあまあ役立っている	どちらともいえない	あまり役立っていない	全く役立っていない	無回答
6	12	3	0	1	1
26.1%	52.2%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%

理由:

- ・再就職前に研修を受けたことで、実際に看護した時に緊張が少なくスムーズに仕事を始めることができた。2件
- ・点滴と採血を久しぶりに実際にやってすごく自信を持って現場に行く事ができた。
- ・知識や手技を再び学べたことが活かしている。
- ・最低限必要なことばかりだった。
- ・患者を総合的に診るため。緊急対応の判断基準となる。
- ・訪問看護ステーションで実際に勤務している方の話が役に立った。
- ・記憶を思い出したり技術の確認においてはとても役に立った。しかし自分の看護技術力では即戦力にならないと感じ、再就職先選びの基準となった。
- ・採血ホルダーの持ち方の指導もしてほしかった。
- ・最新の知識を得る事ができていたが、実技はする機会がない部署だった。
- ・実際に採血、注射を行わない業務だったため。

5)再就業講習会(復職セミナー等)未受講の理由(複数回答)

再就業講習会(復職セミナー等)を未受講の理由は、「必要性を感じなかった」44.8%、「日程が合わなかった」31.0%、次いで「すぐに就職しなければならなかったため受講できなかった」24.1%だった。

<表22> 再就業講習会(復職セミナー等)未受講の理由

	(n=29)		
		再就業 (n=15)	転職 (n=14)
必要性を感じなかった	13 44.8%	6 40.0%	7 50.0%
日程が合わなかった	9 31.0%	7 46.7%	2 14.3%
すぐに就職しなければならなかったため受講できなかった	7 24.1%	3 20.0%	4 28.6%
研修を知らなかった	5 17.2%	1 6.7%	4 28.6%
家庭の事情(子育て、介護等)で受講したかったが受講できなかった	2 6.9%	2 13.3%	0 0.0%
内容が不満だった	1 3.4%	1 6.7%	0 0.0%
費用がかかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
申込方法がわからなかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
就業したい施設で再就業支援を実施していた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 6.9%	1 6.7%	1 7.1%

その他：
・研修施設が遠い
・体調不良

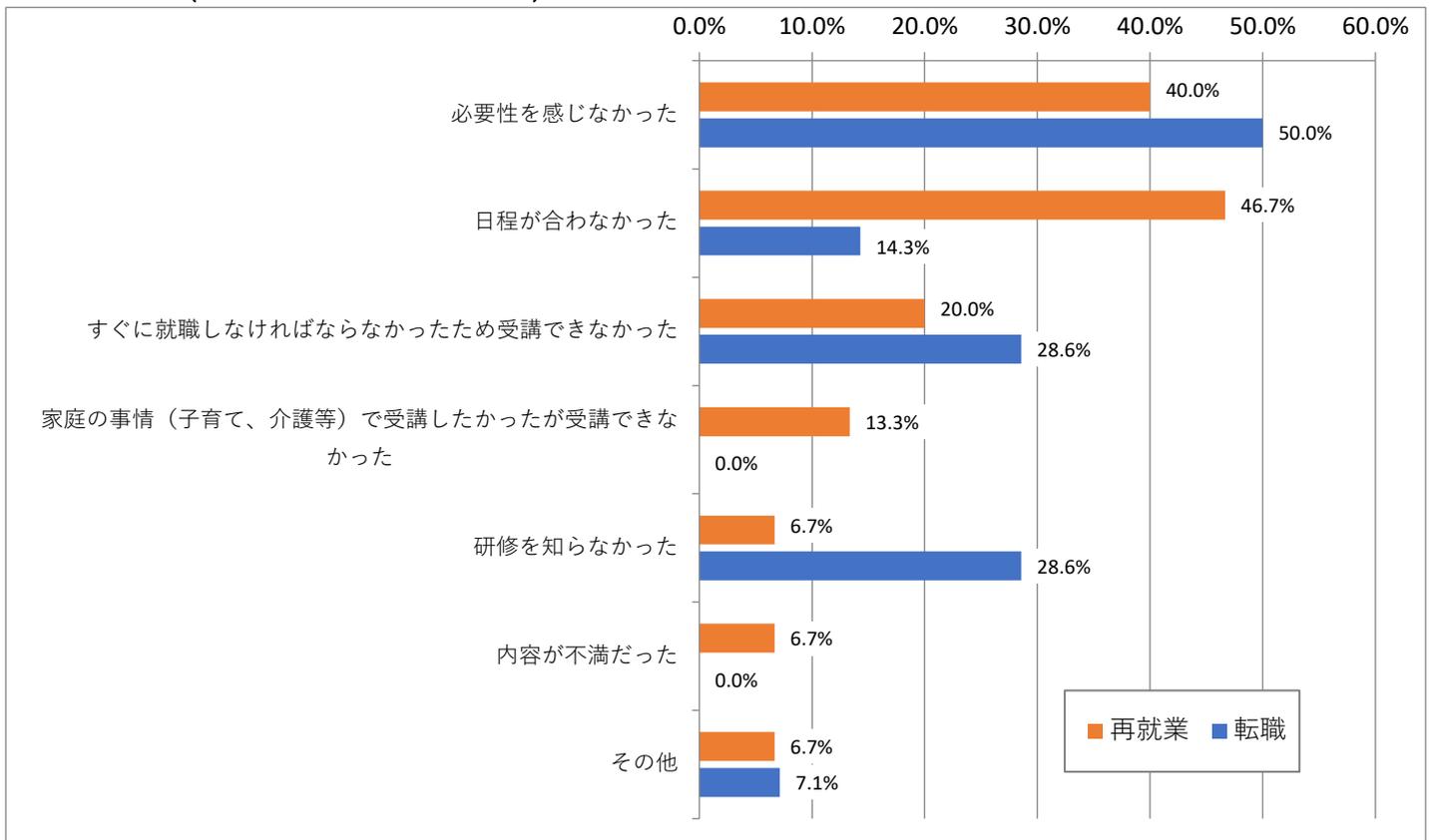


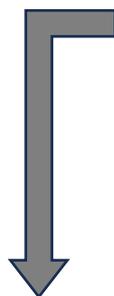
図12 再就業講習会未受講の理由(再就業、転職別)

6)再就業後、看護業務を遂行するにあたり困ったこと

再就業後の看護業務で困ったことがあるかでは、「困ったことがある」48.1%、「困ったことがない」51.9%だった。

<表23> 再就業後の看護業務で困ったことがあるか (n= 52)

	(n=52)	(n=52)	
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
困ったことがある	25 48.1%	15 53.6%	10 41.7%
困ったことはない	27 51.9%	13 46.4%	14 58.3%



内容

- ・看護師経験が浅く、手技がわからない。自由に練習(模擬キット)できる環境があると嬉しい。
- ・技術、知識共に欠けてる部分が多かった。 11件
- ・業務内容が病院によって異なるため慣れるまでに時間がかかる。
- ・教育体制やマニュアルが整っていないため、その都度確認をしなければいけない。
- ・数年ぶりに行う業務ではマニュアルや手順が変わっている事がある。 4件
- ・電子カルテの取り扱いについて十分なオリエンテーションもなかったので困った。 2件
- ・基本的に医療行為が出来ない施設。医療者は看護師だけなので、責任重い。 2件
- ・人間関係が悪い、給料が6割に減った。

9.ヘルシーワークプレイス相談窓口を知っているか

ヘルシーワークプレイス相談窓口を知っているかでは、「知っていた」15.4%、「知らなかった」84.6%だった。

<表24> ヘルシーワークプレイス相談窓口を知っているか (n= 52)

	(n=52)	(n=52)	
		再就業 (n=28)	転職 (n=24)
知っていた	8 15.4%	5 17.9%	3 12.5%
知らなかった	44 84.6%	23 82.1%	21 87.5%

9.千葉県ナースセンターへの意見と要望(自由記載より)

お仕事相談について

- ・ずっとお世話になりっぱなしでした。たくさんの励ましや情報により再就職出来た。
- ・再就職に際して相談できる機会を設けて頂きとても助かった。
- ・いつも親身に対応してくださりありがたく感じた。
- ・就職活動の際、就業時間、休日、就業内容、条件などの中で、聞きにくい内容もあるので、施設先によって聞いてほしいと思う事があった。
- ・もう少し大学への就職先を広く紹介してほしい。

研修について

- ・研修に参加し、指導の先生の経験したアドバイスが非常に役立っていて、もっと色々な研修があったら就職前に参加して聞きたかった。
- ・就職後も参加できる演習とかあれば、参加してみたい。
- ・なかなか技術練習をする場がないので、機会を作っていただき本当に感謝している。優しく教えていただき、自信を持って現場に戻ることができた。
- ・採血やサーフロー、吸引など一回の研修でもっと経験つめたら良かったと思った。
- ・研修先を増やして、行きやすくしてほしい。

eナースセンター・求人情報について

・求人先と応募者のミスマッチが多い。名ばかり復職支援もある。病院の場合は口コミなども参考に
にするが、できるだけ正しい情報が事前に欲しい。

ヘルシーワークプレイス相談窓口について

・ハラスメント相談を受けたかった。
・相談内容が職場に情報がもれないか心配で相談ができない。相談して解決したケースを教えて
いただけると、相談しやすくなると思う。

その他

・サービス残業がある病院を無くすよう努力して欲しい。相談した際に、そのような病院があることを把握できて
いない言動があった。
・看護師の労働環境が良くない。労働対価も低い。そのためか、疲弊の原因となり人間関係も良くないように思う。
施設側の労働環境が悪く、転職となったとしても個人に原因があるのではと、憶測をもたれ偏見の
中での転職活動は厳しい。例えば、就職ができたとしても職場内で噂がたち、更なる偏見をもたれる。